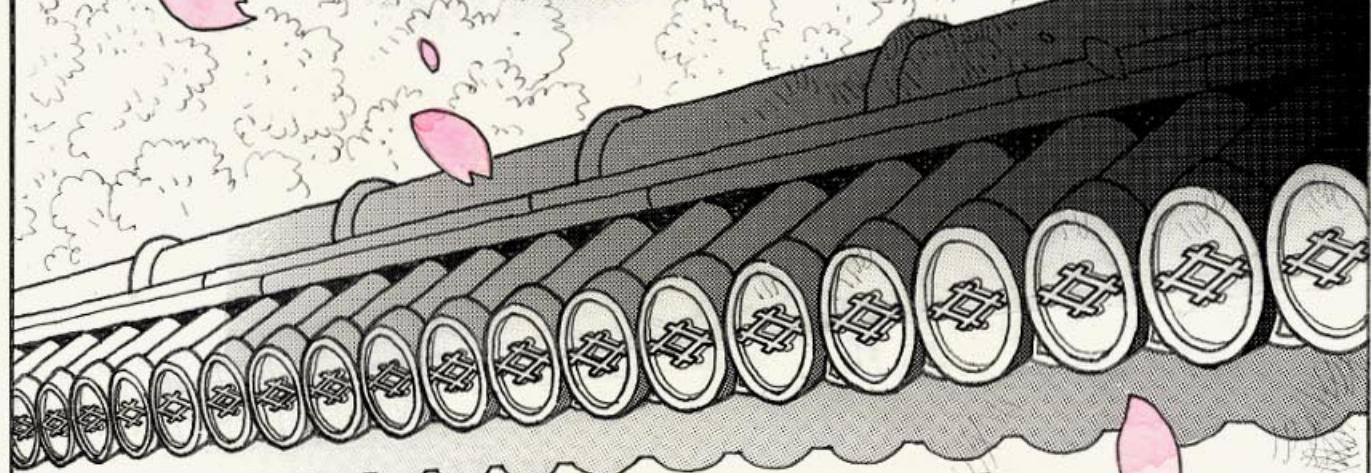


住友四百年

源

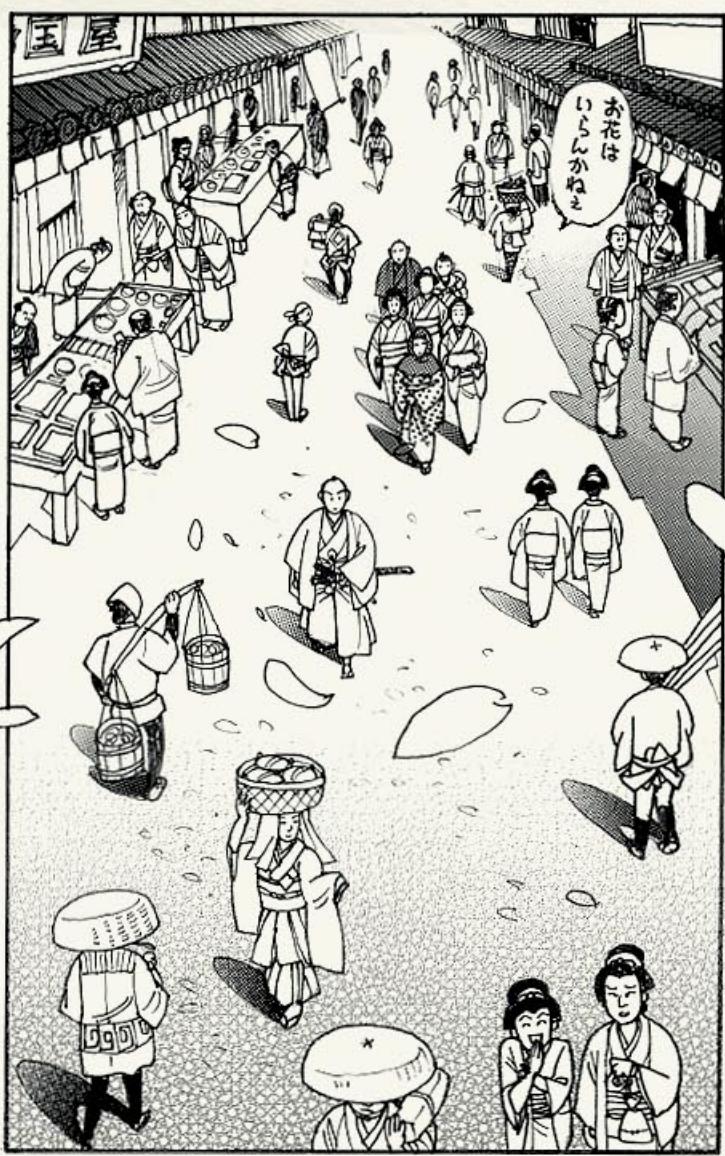
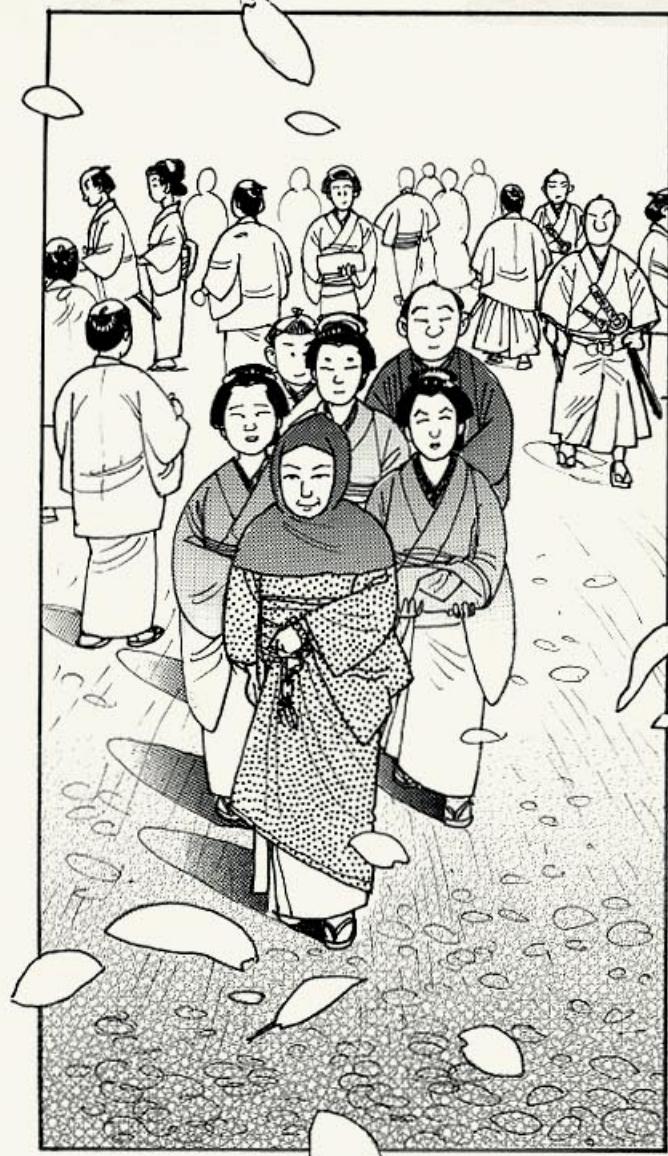
久



第一話 「小次郎、都へ行く」

作: 西ゆうじ 画: 長尾朋寿

元禄四年（1691）春
京の都



◎この作品は、住友の歴史を参考にして創作された物語です。



文殊院様。

泉屋は伊予の別子に
銅山の開坑を見ることが

出来ました。

これで泉屋住友は、
揺るぎなきものとなります。

文殊院様のお教えと、
そのお教えを住友の者たちが
大切にして参ったからに
他なりません。

文殊院様のお教えを、

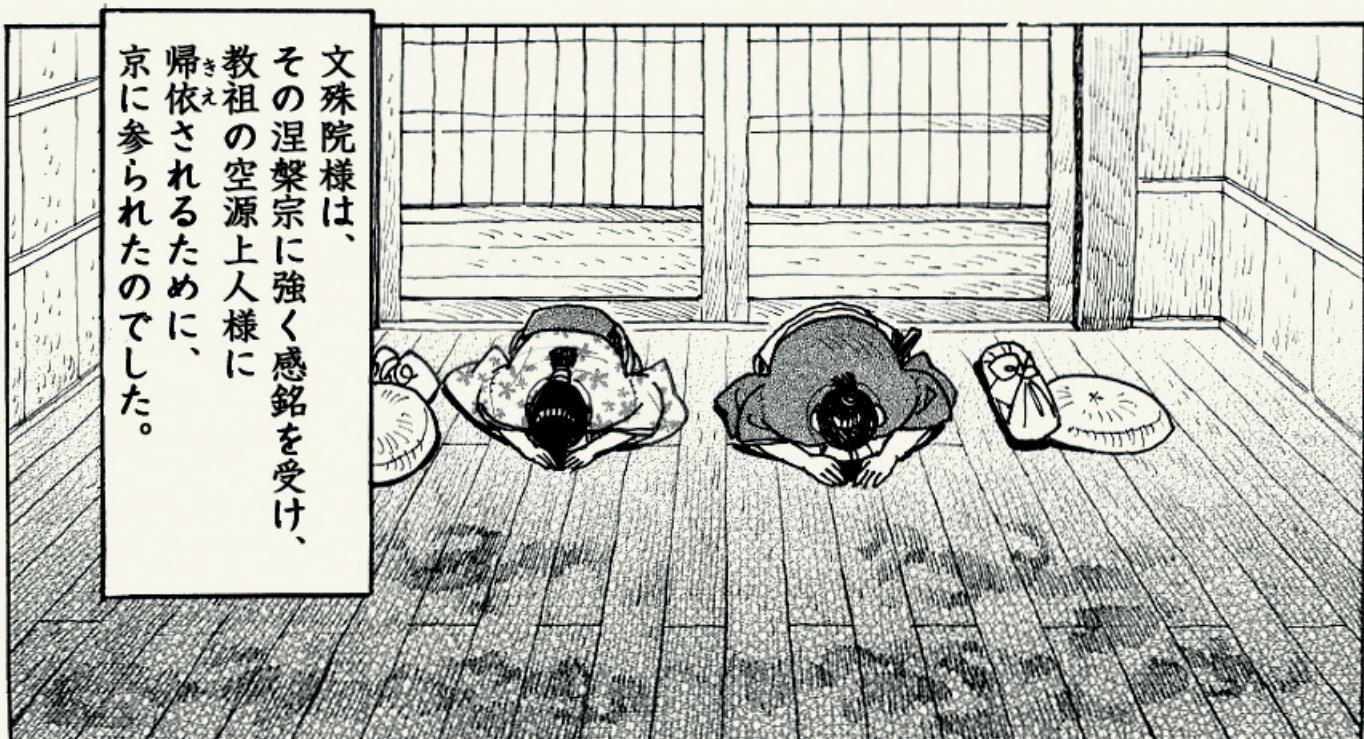
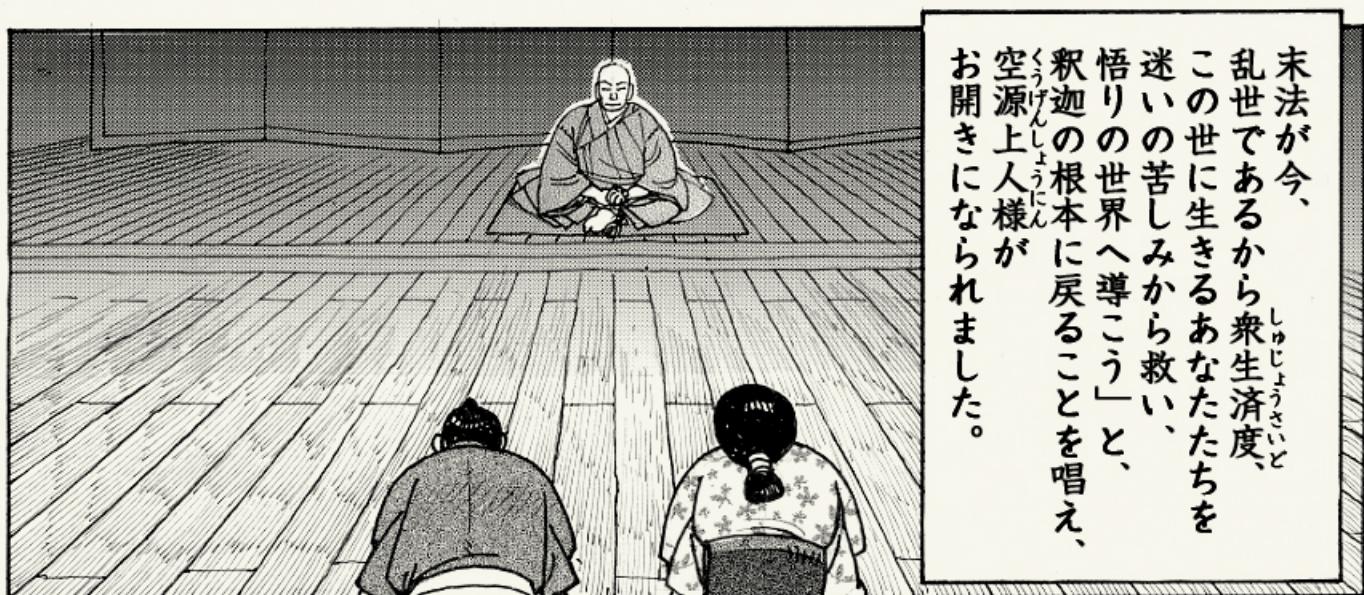
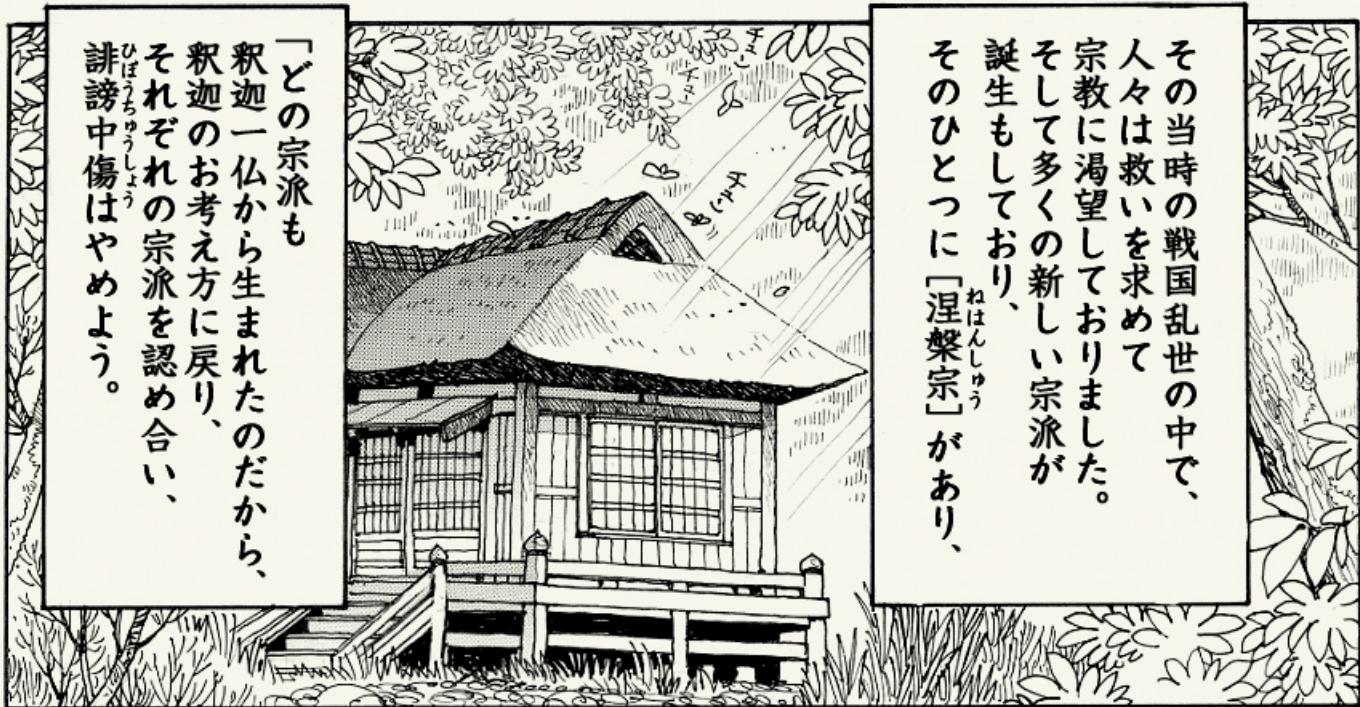
住友の者共は、
未来永劫守り続けます。

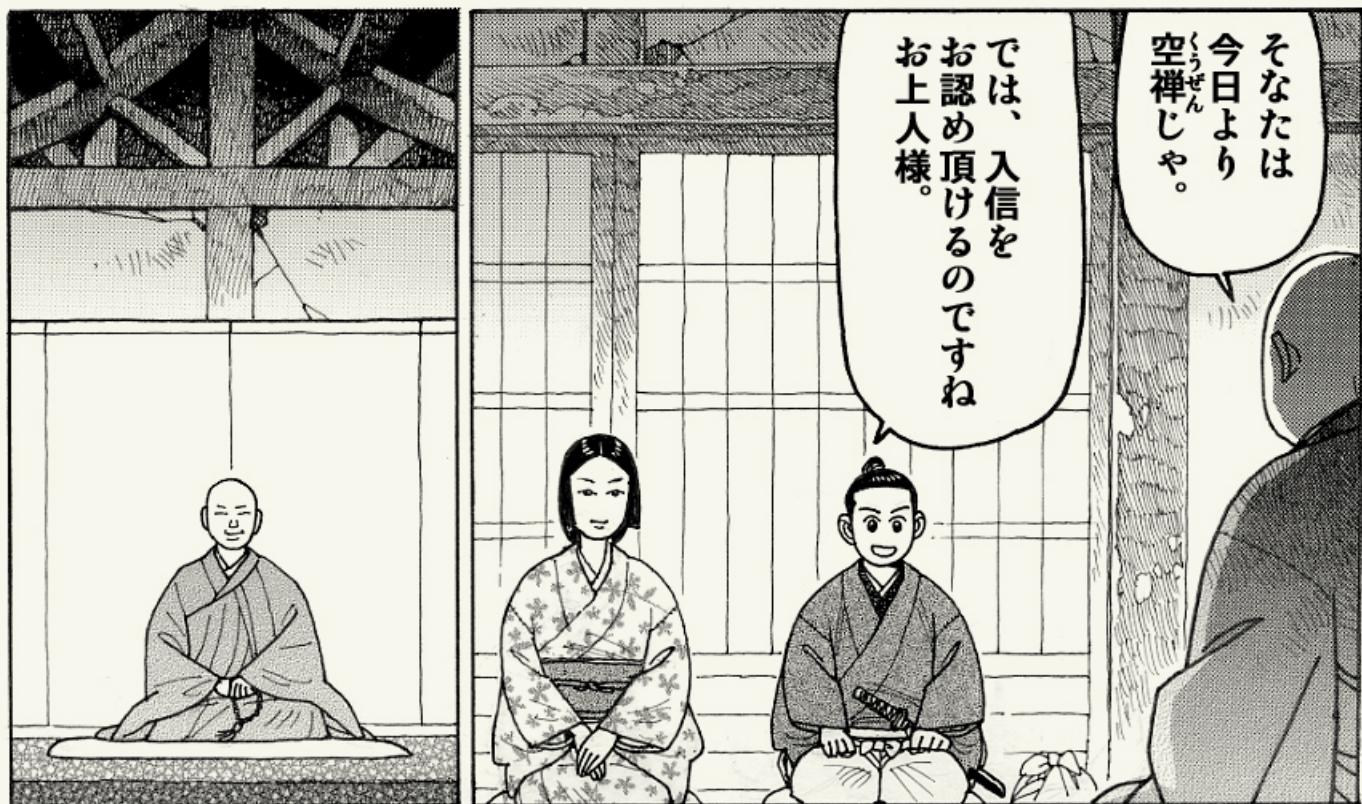
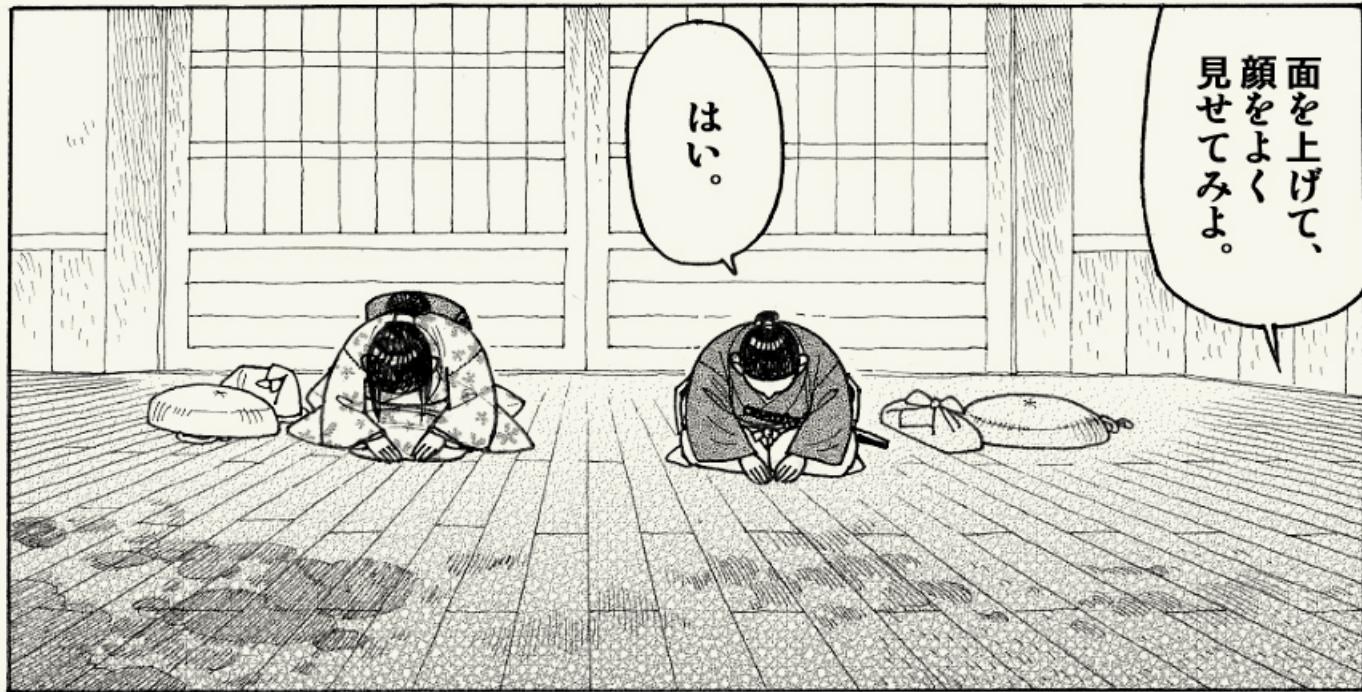
どうぞ…どうぞ…
お見守り下さいませ。

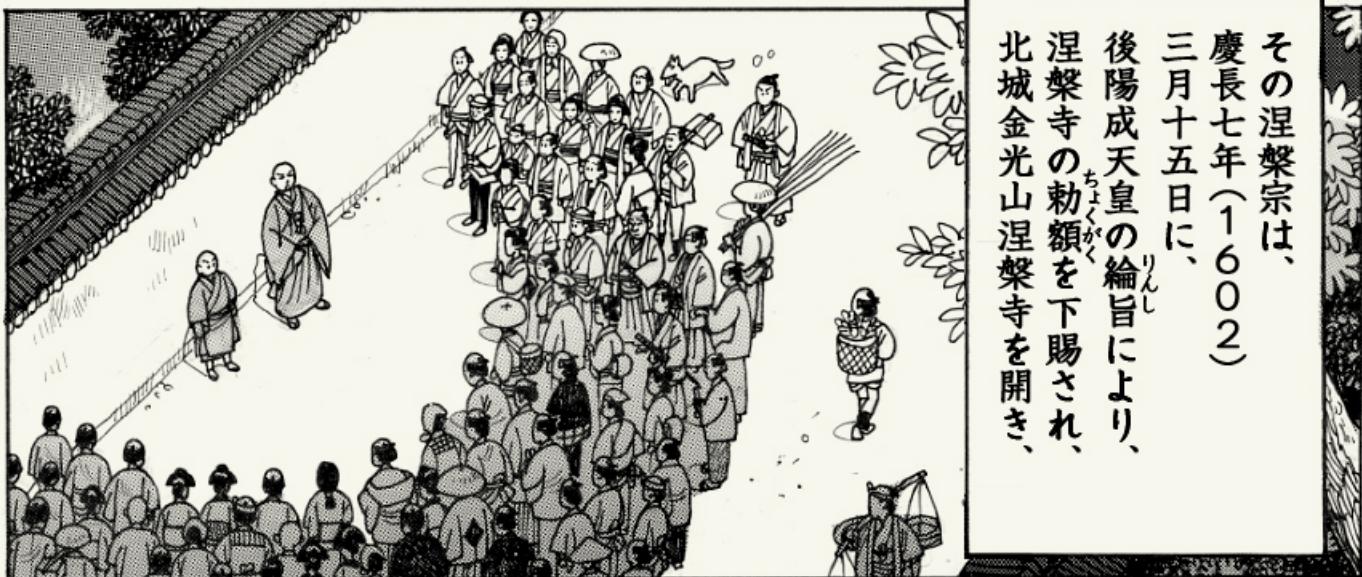
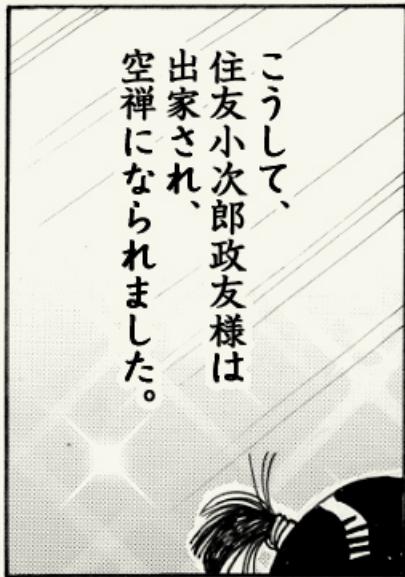
文殊院様は、住友小次郎政友様と
申されまして：戦国乱世の
天正十三年（1585）に
越前国丸岡（現・福井県
坂井市丸岡町）に
お生まれになられました。
そして……。

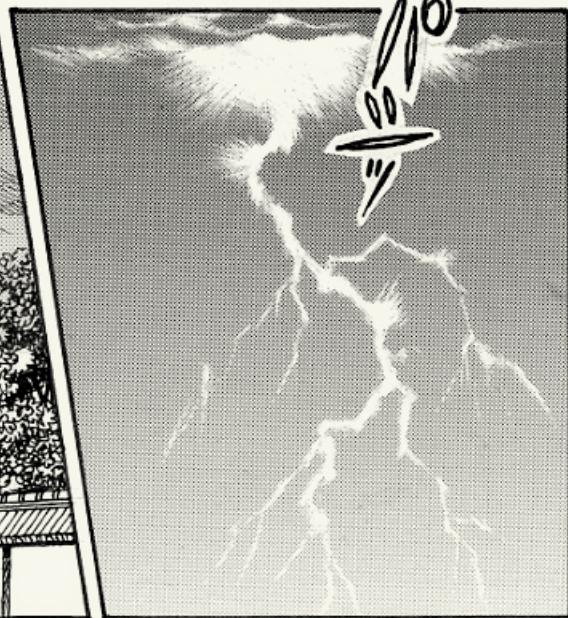
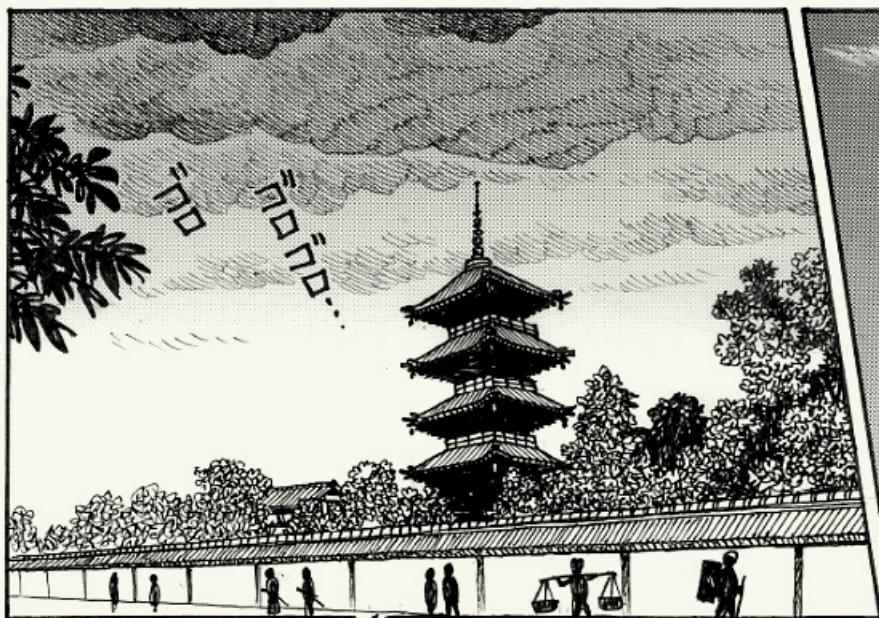












そんな矢先、思つてもみない
苦境に陥づたのです。
元和三年（1617）八月、
それまでの庇護者であらせられた
後陽成院がお隠れになられると、
他宗派から一斉に、
涅槃宗は邪教であると
批難されたばかりか：





こうして、
住友四〇〇年の壮大な物語が、
幕を開けた――。

京に上り、
僧侶となつた小次郎、
そして涅槃宗の運命は如何に!?